

「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。

2019年2月、千葉県船橋市にあるフェイスタウンにて『ふなばし市民活動フェア』が開催されました。健康生きがいがづくり千葉県連絡協議会として参加しブースを開き、来場者に説明をしていました。

その時、同じフロアに『ふなばし市民大学校』のブースがあり私は、地元松戸市で以前に千葉県生涯大学校に通って勉強していた事もあり、『ふなばし市民大学校』でも勉強ができたら良いなあ?と思い、担当者の方に声を掛け、受講出来るかどうか聞いてみました。

返ってきた言葉は「船橋市に在住及び在勤の方でないと、受講することは出来ません」と断られてしまいました。

その後もその担当者と、暫く話をする内に、私の経歴についての話をする羽目になりました。それを聞いた担当者から返ってきた言葉は「『ふなばし市民大学校』の受講生ではなく、講師としてお話をして頂けないでしょうか?」でした。まさに「人間万事塞翁が馬」でした。

受けたかった受講生ではなく、逆に講師として話をして欲しいと展開が変わってしまいました。

本年2月18日(金)ふなばし市民大学校 暮らしの教養学課 講義内容「自己肯定感を高めるって、いったいどういうこと?」と言うテーマで、午前中2時間、午後2時間、受講生を入れ替えして、2回の講義を行いました。

同じ会場で、同じ内容の講義を午前・午後に分けて1日に2回行なったのは初めてでした。受講生は入れ替わりましたが、講義をする講師の心の持ち方も変わってきているのを実感出来ました。

1ヶ月前に担当者と初めて逢い、講義を行なうについて、詳細な最終打ち合わせをしました。現在の受講生は、コロナ禍のため受講生同士のコミュニケーションが上手く取れていない状況を知りました。昨年9月には1ヶ月間授業が休校になったとか、他の講師が講義形式ばかりの話をする方が多いとか、表面からでは見えない情報を聞き出すことが出来ました。

そこで私は「自己肯定感…云々」についてのテーマですが、講義形式を行わず、ワークを中心にした形に変えて講義を行いました。

事前準備の大切さと、主催する側が何を望んでいるのか?をしっかりと掴むことが出来た大切な例であったと思います。

健康生きがいがづくり千葉県連絡協議会(略称:健生千葉県連) 会員 元橋 和吉

